

本校普通科2年生の生徒が 広島大学附属高等学校の生徒と 課題探究でオンライン交流(2回目)を行いました。

3月5日(水)、本校普通科2年生の2班が、学校設定科目「探究PFⅡB」の時間に、11月に引き続き、広島大学附属高等学校の生徒とオンラインで交流を行いました。今回は、前回の交流後の探究活動の内容も加え、お互いの課題探究発表会で作成したポスターをもとに、発表を行いました。発表後は、質問も含め、活発な意見交換がありました。次年度以降も両校の交流を深めて行きたいと思えます。

<今年度の交流班の課題探究のテーマ>

大村：「心地よさを感じる自然 ASMR の波長の共通点」

「大村市の危険箇所をまとめた福祉マップづくり」

広大附属：「人が心地よいと感じる語呂や語順について研究する。語順や語呂などの商品の特徴と商品の選ばれやすさの関係について」、
「築年数や建材をもとにしたハザードマップの作製。過去の地震データなどから、地域に密着したハザードマップをつくる。」

